

令和7年3月18日

自治会町内会長 様

南区青少年指導員協議会
会 長 山 崎 直 宏

南区青少年指導員協議会広報紙
「みなみ青指だより 69号」の回覧について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当協議会の活動について、多大な御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、広報紙「みなみ青指だより 69号」を発行いたしました。

つきましては、当協議会の活動について皆様に御周知いただきたく、御回覧くださいますようお願いいたします。

(送付書類・部数)

みなみ青指だより 69号 回覧用 (班数分)

【問合せ】 南区青少年指導員協議会事務局
南区役所地域振興課
担当 古尾谷・今井
TEL 341-1238 ・ FAX 341-1240



全市一斉統一行動キャンペーン

横浜市では、青少年指導員の活動の周知や、市民の皆様へ青少年の健全育成に対する理解を深めてもらうことを目的にキャンペーン活動を行っており、南区では毎年、ボイス・オブ・ユースの開催日に合わせて、地域にある各駅前でチラシ配りを行っています。

私たちは、六ツ川、六ツ川大池地区連合の4名で、京浜急行弘明寺駅前の踏切を挟んだ二か所に分かれて行きました。

今年は、いかに効果的にチラシを配り終えるか(目標1時間)を話し合い「子供連れの人には子供に、そしてチラシは目の前ではなく少し下の方から差し出すようにしよう」としました。

駅前は人が多いのですが、時間に追われているため、チラシを受け取ってもらえることが難しいと思っていました。

この方法でチラシ配りを開始すると、なんと40分ほどで完了することができました。渡し方の工夫もあり、笑顔をもって多くの人に青少年指導員とその活動を知ってもらえたと感じました。

(石川)



横浜市青少年指導員
シンボルマーク



みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

南区青指 🔍 検索



南区・御殿場

ふれあいキャンプ2024

令和6年7月20日(土)、21日(日) 1泊2日で富士山の麓、国立中央青少年交流の家にて「南区御殿場ふれあいキャンプ」を行いました。

小学3～6年生までの児童、中学1～3年生までの生徒と我々を含めると参加者は、100人を超える大所帯です。

ワークショップ(フォークづくり)、夕飯づくり(カレーづくり)、キャンプファイヤー、川遊び等、様々なイベントを通して参加者同士の親睦を深めるために真剣に且つ楽しみながら活動しました。

子どもたちは2日間、親元を離れて過ごすので安全性を保ちながら楽しんで取り組めるように事前の会議を入念に行い、準備万端で臨みました。その甲斐があり、たくさん子どもたちの笑顔を見ることが出来たキャンプになりました。

(加藤)



南区区連会承認第46号

編集後記

皆さん日本人の《国民度》意識が世界的にうしろの方なのにご存じでしょうか。入学式、卒業式で君が代を唄わないかたが増えています。平成、令和と移り、異体同心のところが培われる機会があまり無くなりました。私は一泊二日の御殿場キャンプに三年間参加させて頂きました。老若男女で良い活動だと思っています。日本には春、夏、秋、冬、土用の5つの節が73日ずつありますが、私の所属している地区では季節ごとに企画を出して実施しています。

話はかわりますが昨年川崎市は、市政100年で中原区のお祭りで令和5年6年と企画部のまとめをさせていただきまして古い写真を探しましたところ宮前区の食堂の約80年前の写真しか見つかりませんでした。写真と映像で綴る川崎という企画での話です。南区も100年に向かっていくのかと思われます。親が子を想い、子が親を思うという日本人らしさをこれからも青少年指導員協議会は大切にしていきます。

(原)

編集委員



- 広報部会長

北永田地区	加藤 春哉
-------	-------
- 広報部会員

お三の宮地区	岡田 圭司
太田地区	原 淳一
太田東部地区	今井 馨太郎
寿東部地区	小林 大雅
中村地区	竹尾 博和
蒔田地区	畔柳 邦彦
井土ヶ谷地区	門井 由美子
南永田山王台地区	山田 智久
永田みなみ台地区	伊東 由和
六ツ川地区	森田 裕之
六ツ川大池地区	青木 慶一
本大岡地区	内田 正幸
別所地区	松尾 英司
- 広報部会担当役員

六ツ川大池地区会長	伊東 俊一
-----------	-------



編集発行/南区青少年指導員協議会
事務局/横浜南区地域振興課内
TEL 045(341)1238



令和7年度上半期、青指行事予定

- 5月頃 南区青少年指導員協議会研修会
- 6月頃 小中学校教諭との打合せ会
- 7月 全市一斉統一行動パトロール活動
- 7月19日~20日 南区・御殿場ふれあいキャンプ2025

ふれあいキャンプ2024 キャンプの思い出

ボランティアたちから、感想をききました。

キャンプに参加した子どもたちから、感想をききました。

第1ブロック 楽しかったふれあいキャンプ

永田台小学校 4年 成田 康太さん

キャンプに参加したのは2回目です。今年もすごく楽しかったです。とくに楽しかったのはキャンプファイヤーです。みんなで踊ったのが楽しかったです。夜ご飯のカレー作りは大変だったけど、自分でできたのがうれしかったです。来年もまた参加したいです。



思い出作り

永田台小学校 4年 成田 涼太さん

ぼくは、これまでのふれあいキャンプには3回参加しました。その3回の中で楽しかった思い出はたくさんありました。みんなで野外炊事でカレーを作ったり、キャンプファイヤーで遊んだり、部屋でリングをなげて遊んだり、湧き水におちたり、カエルやカニを見ていい思い出を作れました。来年も参加したいと思いました。

初めてづくしのキャンプ

大岡小学校 4年 溝口 眞世さん

南区キャンプ、とっても楽しかったです！川遊びは、川の流れて乗って、ヘルメットがぬげるくらい勢いが強くて、初めての体験でとてもドキドキしました。キャンプファイヤーは、3人しかできない神の子になって、飛びはねるくらい嬉しかったです。松明から火をつける時、見とれるくらいきれいでした。いろんなゲームをして、たくさんの子と交流できて楽しかったです。初めてづくしで、とってもすてきな思い出ができたので、また来年も参加したいです！

第2ブロック 初めてのドキドキキャンプ

六つ川小学校 6年 中山 陽菜乃さん

私は初めてキャンプに行きました。最初はきんちょうしていたけれど同じく3号室の友だちがきんちょうをほぐしてくれました。1日目のスプーン作りでは自分のオリジナルのすてきなスプーンができました、その日の夜はカレーでした。みんなで協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。キャンプファイヤーではレクがとても楽しかったです。そして2日目は川あそびをしました。とっても水がつめたくて気持ちよかったです。とても楽しいキャンプでした。なので来年も行きたいと思います。

はじめての南区ふれあいキャンプ

南吉田小学校 4年 馬場 詩文さん

わたしは、はじめて「南区ふれあいキャンプ」に行きました。さい初は不安で「大じょうぶかな？」「きんちょうするな」「友達はできるかな？」と心配をしていましたが、みんな、とてもやさしかったので、わたしは安心しました。はじめてのことがいっぱいありました。キャンプファイヤーでは、ゲームなどをしました。川遊びでは、泳いだりしました。いろいろな思い出になったので、来年もぜひ参加したいです。



第1ブロック 今までにない夏休み

ボランティア 藤田 博美さん

今回初めて南区ふれあいキャンプにボランティアとして参加させて頂き、今までの人生の中で有意義な夏休みを送ることができました。私が担当したブロックは参加した子供達がキビキビと動いてくれて、大きなケガや体調不良もなく2日過ごすことが出来ました。カレー作りはみんなで力を合わせて完成し、美味しく頂いた事は忘れません。来年も南区で伝統のあるキャンプにボランティアとして参加したいと思います。

第3ブロック 初めてのボランティア

ボランティア 石井 琉々歌さん

小学校3年生の時、ボランティアのお姉さんに憧れて、私もボランティアとして参加してみたいと思いました。今回初めてのボランティア活動で不安もありましたが、皆さんとてもやさしく、安心して取り組みました。子供たちの笑顔溢れるキャンプを近くで見ることができてとても楽しかったです。来年も是非参加したいと思います。

オリエンテーション 静かに聞いています。



スプーン・フォーク作り



ブロック旗作り



御殿場の火の神降臨！



このクイズ 解けるかな？

第3ブロック 忘れられない2日間

別所小学校 6年 山中 詩織さん

私は初めてキャンプに参加しました。レクリエーションやキャンプファイヤーなどでコミュニケーションを通して仲を深められ、新しい友達ができたと嬉しかったです。たくさんの友達と会話をかわし、楽しい2日間を過ごすことができたと思います。来年は、中学生ですが、行く機会があればまた来年もキャンプに参加したいです。とても楽しかったです。ありがとうございました。

協力して作ったカレー

大岡小学校 6年 豊島 空さん

自分がこのキャンプに参加して、一番思い出に残っている事は参加した人みんな協力して作り友達たちと食べたカレーです。その中でも自分はジャガイモを、洗って切ったりしました。そしてあつあつのごはんとホクホクのカレーをまぜて食べるのは、とてもおいしかったです。それにいつもは、とてもおいしかったですが、炭で焼いたほうがこげっぽい感じがしておいしかったです。また機会があれば参加したいと思います。

他の団体と一緒に 朝のラジオ体操！ 気持ちいいね！



第44回 ボイス・オブ・ユース 青少年の主張



受付



会場案内



会場案内



介添え



司会



音響照明



雲ひとつない晴天の令和6年12月1日(日)13時から、第44回ボイス・オブ・ユースをみなみん(南公会堂)にて開催しました。

全員選考会(8月31日)から地区選考会(9月6~15日)を経て、受賞された素晴らしい作文を披露する児童、生徒の皆さんに会えること、そして運営を手伝ってくれるボランティアの皆さんとも一緒に役割を担えることをとても楽しみにしていました。今日の主役はあくまでも児童、生徒の皆さんで、我々は裏方に徹することを意識しながら、役割に分かれ準備に取りかかりました。

受賞者は緊張の面持ちで、またボランティアの皆さんはやる気に満ちた雰囲気を出しながらの会場入り。今日が参加者の皆にとって最高の1日になって欲しいと願いながら、メンバー全員満面の笑みで迎え入れました。運営ボランティアの皆さんには、真剣な眼差しで自分の役割について説明を受けている中でインタビューも行いました。ボランティア活動に至る思いや意気込みを話してくれ、ボイス・オブ・ユースへの熱い思いが伝わりました。

オープニングで共進中学校の吹奏楽部の皆さんが息の合った演奏を披露してくれました。いよいよ始まるなという期待感で会場が包まれ、いよいよ開会です。中学生ボランティアが丁寧な言葉で開会を宣言してくれました。その後山崎会長、高澤区長、来賓の方々の挨拶が続きました。

そして司会の児童から入選作文の表彰式と朗読発表の説明があり、入選者が壇上に上がります。当然緊張するでしょうが、とてもしっかりとした凛々しい表情が印象的でした。テーマ別での入選の代表者が表彰状と記念品を受取り、作文の朗読発表となりました。大勢の観客を前に、皆自信に満ちた表情で、ひと言ひと言を自分の言葉で約5分間表現してくれました。どのテーマもとても素晴らしい内容で、観客もグイグイ引き込まれ、読み終えた時には大きな拍手が鳴り止みませんでした。

入選作文の発表にスポットが当たるところではありますが、様々な場面で多くのボランティアの児童、生徒が活躍してくれました。終了後には感想を聞きましたが、自分の役割をやりきったという満足げながらホッとした笑顔がとても印象的でした。一緒に活動ができた我々も、会場を盛り上げてくれた一体感がとても嬉しく充実した1日になりました。

(山田)

選考にあたって

8月31日(土)13:00より、青少年指導員約80名が南区役所7会議室に集まって第一次選考会を実施しました。出席者全員で作文の読み合わせを行い、結果として約3分の1の546編の作文が審査を通過しました。通過した作文は、9月6日(金)~9月15日(日)の期間、各地区に振り分けられ、そこで第二次選考会を実施しました。

さらに、10月3日(木)に青指役員による調整会議を経て、最終的に69編の作文を入選作品として決定いたしました。

(今井)

式典



オープニングアトラクション

共進中学校吹奏楽部



朗読

入選者の感想

「思いやりのある社会へ」

みやした ともや

南吉田小学校 4年 宮下 知也さん

入選作文に選ばれてとても嬉しかったです。僕が朗読をする姿を見て、実際に吃音ということを知ってもらえたと思います。これからも吃音に負けずにいろいろなことに挑戦して頑張っていきます。

「10年後の私へ」

※運営ボランティア「受付・誘導」

かとう ゆずき

永田台小学校 6年 加藤 柚希さん

私は入選してとても嬉しかったです。朗読者になりたくさんの人の前で緊張してましたが、ゆっくりと心を込めて読みました。当日のお手伝いもすることになり、同じ役割の子とも仲よくなれて良かったです。これからも自分の夢に向かってがんばりたいです。

「ラインの言葉は打ち言葉？」

たかお ほのか

共進中学校 1年 鷹尾 和香さん

ゆっくり、はっきりと読むために時間を測りながら何度も練習しました。おじぎの練習もしました。本番は、かんだところもあったけど、練習通り読みました。校長先生に、「目のつけ所がよかったね。」とほめられてうれしかったです。宝物がひとつふえました。

「伝えたい南区の素敵なつながり」

かつべ

永田中学校 2年 勝部 はんなさん

先日の表彰式では、同年代の人の様々な主張や経験を聞くことができ、とても勉強になりました。今回の経験をこれからの生活に役立てていきたいです。運営に関わってくださったボランティアの皆様、青少年指導員協議会の皆様、ありがとうございます。



表彰式



ふりかえりの会

募集期間:
令和6年8月1日(木)
~27日(火)

応募総数:
1,552編

作文集は
こちら



令和6年度 横浜市青少年指導員研修会

令和6年9月14日(土)午後1時30分から泉公会堂において、令和6年度横浜市青少年指導員研修会が開催されました。

研修会は、「横浜市立中田中学校吹奏楽部」による演奏で始まり、曲目は、マーチ「フロンティア・スピリット」を皮切りに、最後に「銀河鉄道999(スリーナイン)」が演奏されました。特に最後の曲目では会場の多数の青少年指導員が手拍子を送り、大変盛り上がったオープニングとなりました。

その後、横浜市青少年指導員連絡協議会会長、横浜市長と横浜市町内会連合会会長の挨拶で開会されました。



まずは、開催区活動紹介として泉区青少年指導員協議会より各地区の活動紹介が行われました。活動の中には、東京タワーの階段を昇り、階段認定証をもらう企画や夜間に泉区より江の島まで歩く企画などの報告がされました。

次に、演題「戦わないコミュニケーション～自分のパターンを知る～」として山崎洋実氏による基調講演が行われました。講演は、会場内の聴講者が席を移動し2,3人のグループを作り、講師からのテーマについて話し合うグループワークを行いながら、講師の経験をもとに人のパターンについて説明されました。講演を通して、人は各々の性格や行動を理解して、お互いを尊重しながら意見を交わすことの大事さに気づかされました。

最後に、泉区と次回の研修会開催区の港北区青少年指導員協議会との引継ぎで研修会を終えました。(内田)



令和6年度 南区青少年指導員協議会全員研修会

令和7年1月19日(日)13時30分より、南区役所7階会議室にて標記研修会を行いました。今回は、青少年指導員83名が参加し、「個別支援を必要とする子どもへの対応とキャンプファイヤー等におけるレクのワーク」のテーマで、「横浜市学校レクセミナー」の14名の講師の方々の指導による様々なゲームを通してのワークショップと講義をして頂きました。

冒頭、山崎会長からの挨拶の後、さっそく具体的な研修に移りました。まず、数人～10数人程度のグループに分かれて、レクの体験としていくつかのゲームを自ら行い、さらにゲームの進め方の説明の仕方についても実習しました。私たち自身、ルールをあまりよく分からず始めて、周りに合わせてゲームを行うこともありましたが、子どもたちは理解できない場合そのように「適当に」こなすことができないこともしばしば起こります。

講義では、個別支援を必要とする子どもへの対応の具体的な状況についてのお話を伺いました。コミュニケーション上の様々な問題を抱えている子どもには、レクリエーション活動を上手にサポートすることで、緊張を解放させ、一体感を育むことによって、苦手なことを乗り越えた時の楽しさを実感してもらうことが大事だと言います。ここでの研修は、夏のキャンプや地域のイベントなどに生かしていきたいと思えます。

(今井)



第55回 神奈川県青少年指導員大会

令和6年11月10日(日)に13時から相模原南市民ホールにおいて、第55回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

会場受付前では、相模原各地区の活動内容が掲示板で紹介され、様々な企画を面白く観覧することが出来ました。

大会のテーマは「育てよう豊かな心 伸ばそう若い力」というプログラムで進行了しました。

オープニングでは、光明学園相模原高等学校の和太鼓部による力強く躍動感のあるパフォーマンスに、会場に来場された方々が手拍子が出てしまうほど盛大なオープニングイベントとなりました。

その後、大会開催地である相模原市青少年指導員連絡協議会会長の開会からはじまり県協議会、神奈川県副知事、相模原市長とあいさつの言葉をいただき、来賓者の紹介後、各地域でご活躍された青少年指導員の方々の表彰式が行われました。



大会後半では、相模原市青少年指導員連絡協議会の代表の方から活動事例の発表と講演では、宇宙航空開発機構(JAXA)小惑星探査機「はやぶさ2」元プロジェクトマネージャー津田雄一様から、生い立ちから現在に至るまでのお話や宇宙探査機「はやぶさ2」の普段聞くことの出来ないお話を聞く事が出来ました

(岡田)



第12回 南区みなっちランニングフェスタ

令和6年12月8日(日)師走に入ったと思えない暖かさの中、大岡公園で南区スポーツ協会主催の南区みなっちランニングフェスタが行われました。

南区青少年指導員協議会からは、山崎会長と6名の青少年指導員(蒔田地区2名、本大岡地区2名、別所地区2名)が競技支援に加わりました。

レースの競技種目としては第1から第5レースまであり、第1から第3レース(年中・年長・小学1年生と保護者)は、お父さん、お母さんが子どもさんを引っ張って走っているのが、見受けられましたが、第4・5レース(小学2,3年生と保護者)になると、先を走っていた子どもさんが、ゴール手前にある「手をつないで」の看板の前で、お父さん・お母さんを待っている光景に子どもさんの成長を感じました。

私も30年位前、当時小学1年の子どもと親子でランニングする大会に参加したのを思い出しました。

親子で運動する機会が少なくなって来ていると思いますが、該当する子どもさんをお持ちの皆様、来年はぜひ親子でゴールを目指してみませんか。

(松尾)

